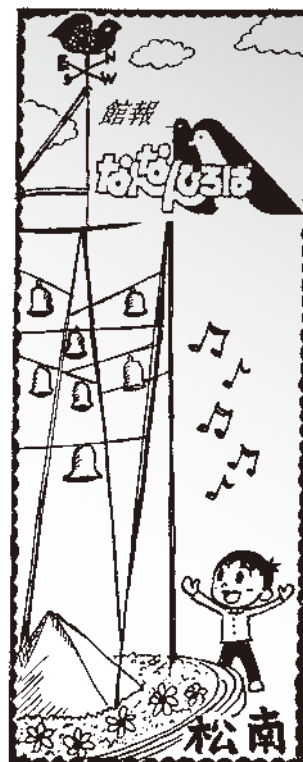




去る10月1日(土)に南松本・宮田の保育園の運動会でしたが、あいにくの天候のため10月4日(火)に延期し、無事終えることができました。

両保育園の園庭には、家の方々が大勢訪れ応援するとともに、我が子や孫の成長の様子を確認していました。

保育園運動会



『ドーン』『ドーン』と異音に眠りは破られる。もうろうとした状態の中で保育園の運動会が浮かんだ。外は曇天、空気は湿って雨模様である。保護者の席とりとカメラの並列が見られ、熱気を感じられる。児童の元気さも伝わってくる。セレモニー後、宮田保育園の運動会が始まる。

先生の指示に懸命に取り組み、園児の歓声と笑いあり涙あり又、また保護者の応援も大いに盛り上がりを見せる。プログラム中盤雨が激しくなり残りプログラムは後日(三日後)実施と決まる。

再開日は天をも抜ける快晴、心なしか全員の顔も輝いて見える。園長先生の挨拶後、かけっこから始まる。

保護者の『ダンス』は皆が学生時代を彷彿させ、笑顔の躍動が見られ、アンコールにて大いに息があがった方も多数見られた。

終わりの会では金メダルの



授与があり、ながい・長い運動会は終わりとなりました。(田中紀彦)

10月1日(土)に、新築のなんぷくプラザになつてから、初めてのひろばまつりが行われました。

当日は、今にも雨が降り出しそうな天気でしたが、お昼近くには青空が見える様になり良かったです。

焼きそばは町会長の担当で調理・取り分け・トッピング・お渡しまで分担作業をし、ポップコーンは育成会の担当でした。限定二百食の焼きそばや無料のポップコーンが出来始めました。館内ではひろば喫茶、コーヒー・紅茶が一杯50円で休憩タイムの場に。子ども達の歓声が聞こえてきた先には水ヨーヨーのミニプール。また、ロビーの一角では民生児童委員さんによる工作コーナーがあり、子ども達が一生懸命平面パズルを作っていました。

ロビーのメイン会場では初めての試み「松本アルプホルンクラブ」と「沖縄三線ゆいまーる」の皆さんによる演奏会があり、祭りも最高潮になり賑やかになりました。

百瀬地域づくりセンター長は「なんぷくプラザのロビー

第14回ひろばまつり

が有効に使われていてうれしいです。これからも楽しいイベントに活用してください。」と話されていました。

他に、ワンちゃんコーナーや手芸品の販売、ひろば事業の紹介展示もあり、色々工夫された様子が分かりました。

ひろばの新田コーデイネーターは「たくさんの人に来ていただいていたありがとうございます。」川窪町会連合会長は、「ひろばが新しくなりました。松南地区の皆さんのますますのご利用をお願いします。」とそれぞれ話されました。

ひろばまつりに参加して思うことは、人と人の絆づくりの核になっているなあと感じました。

(中田清和)



「なんぷくプラザのロビー

信明中の生徒が、地域の一斉清掃に
来てくれました



10月12日、宮田西公民館に朝8時前に運動着姿で、大きな通学かばんとバッグを持って集まって来る。地区担当の先生も見え、町会の生徒さん18名と、町会からは町会長、衛生部長、民生委員、西友会より5名の計8名が参加しました。学校の年間行事では年に2回地域に出でのふれあい
が予定されており、前回は7月に実施し今回が2度目でした。

全員が集合し、地区生徒会の代表の挨拶で始まり、町会長・西友会長それぞれの挨拶があり、仕事の段取り説明で「男子は、西友会のおじさん方が切った垣根の枝を袋につめる。女子は、石拾い(前回
は公民館の中の清掃や窓ふきでしたが…)を。くれぐれも怪我のないように。」とお願
いして始まりました。石拾いを始めたら草がいっぱいあったので、草かきで雑
草を取りながら石を拾ってま
らいました。予定時間があつ
という間に過ぎました。遊園
地の全部はできなかつたけれ

ど地域の人の、ふれあいができたでしょうか?この様なふれあいが深まればたまに遊びに来る保育園の子ども達にも安心です。清掃の成果はゴミ袋が15にもなりました。全員で終わりの挨拶があり、担当の先生のお話で「今年度の地域一斉清掃は怪我もなく無事に終わりました。ご苦労さんでした。3年生は最後だね。来年度は今の2年生がみんなをまとめて頑張ってください。」と、いって終わり解散しました。

(高橋愛子)



炊き出しボランティア『みらい』①

代表 浅田修吉さん

館報「松南版第37号(平成24年5月30日)で紹介しました宮田西の浅田修吉さんが、4月に起きた地震被災地熊本県で炊き出しを行いました。そこで、浅田さんに文筆していただきました。

私は、炊き出しボランティア「みらい」の代表として、20年前の阪神・淡路、中越、東日本などの地震被災地にて、二百回以上の炊き出しを行ってきました。皆さん想像してみてください。皆さん想像してみてください。何も無い所で三百人分の炊き出しをするのがいかに大変か。今回は私どもの活動を知っていた多くのと同時に、私どもの抱える問題を述べさせていたいただきます。

(続く)

熊本地震では4月、5月、7月に3回行ってきました。東日本の地震と違い範囲が狭く、ガソリンも十分にあるため、車が使えぬ。携帯電話も自由に使えたため、被災者が殺到し、アツと言う間に物がなくなり、本来配らなければならぬ避難所の方に届かない事が何度か起こりました。炊き出しには、大変な費用がかかります。これが大きな



子ども成長と運動会
9月17日は開明小学校の運動会でした。一週間前から秋雨前線や台風の影響のため、天気が不安定で心配でしたが、無事行われほっと一安心。
娘は六年生。娘にとっても、私にとっても、小学校最後の運動会です。下級生の競技を見てみると「あんな頃もあったな、懐かしいな」としみじみ思いにひたりました。六年生の出番がきました。短距離走は迫力がありませんでした。力強く走る姿に、たのもしさを感じました。最後の種目は組体操。先生の笛に合わせて、きびきびと演じていきます。時には友達を支え、時にはリズムに合わせてピラミッドを作り、千手観音はとてきれいで、圧巻でした。いつの間にかそんなに力がついたのかと、感心してばかりでした。入学式の日、小学校生活についていけるか心配していた子どもと自分に「大丈夫だよ」と伝えたいと思いました。

息子と娘の成長を見せてくれた運動会。子どもたちのがんばる姿は素敵でした。ありがとうございました。
(山本律子)

コラム松南